

仕 様

機種名	MVM-20G5
フレーム材料	アルミ
シート材料	ポリエステル
アームサポートタイプ	固定式
アームサポート	ウレタン
サイドガード	ポリプロピレン
グリップ	PVC
バックサポート	スリングシート
背折れ	あり
フット・レッグサポートタイプ	開閉式(スイングアウト)
フットサポート	軽量
キャスタ	ソフトフォーミング
タイヤ	ハイポリマータイヤ(黒)
制動用ブレーキ	あり ドラムブレーキ
ハンドリム	ブラハンドリム
駐車用ブレーキ	引き掛け式トグルブレーキ

※1 アームパイプ内々の寸法です。()内は座シートの寸法です。
※2 ()内はヘッドサポート取り外し時の寸法です。
※3 ()内はフット・レッグサポートを取り付けたままの寸法です。

(測定項目)	単位:mm
駆動輪(主輪)(inch)	22
キャスタ径(inch)	6
前座高	435
後座高	410
シート奥行	400
シート幅 ※1	420(380)
バックサポート高	400
フットサポート・シート間距離	360±20
アームサポート高	240
全高 ※2	1250(860)
全幅	580
全長	950
折りたたみ全高	690
折りたたみ全幅	350
折りたたみ全長 ※3	700(950)
重量(kg)	15.3

車いす移動車対応車いす

MVM-20G5 補足取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
本製品に同梱されています車いす取扱説明書に補足がございますので、以下の内容を併せてお読みください。
また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。

車いす移動車への搭載について

本製品は、車椅子簡易固定標準化コンソーシアムに準拠した、「車椅子簡易固定システム」に対応しています。
車いす移動車への搭載、固定につきましては、該当する製品の取扱説明書をお読みください。

使いかた

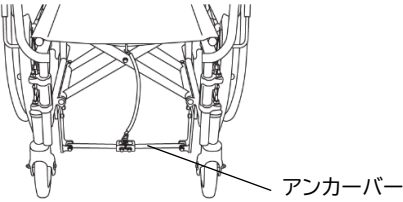
車いすの開きかた・たたみかた

(車いす取扱説明書 P.7)



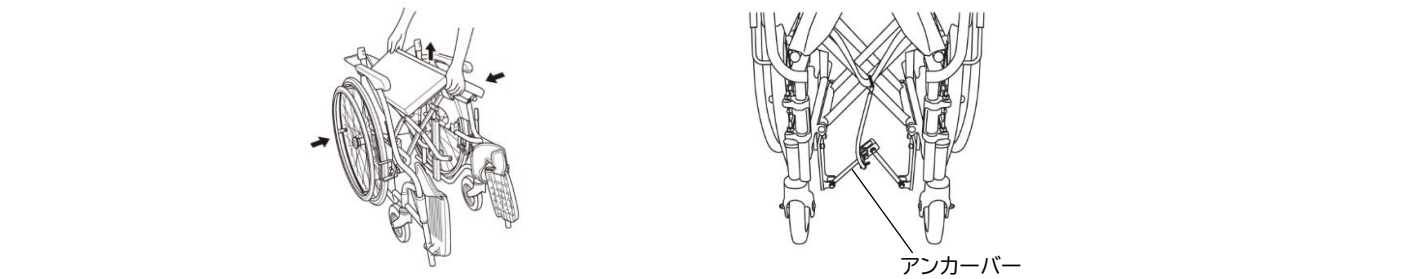
注 意

車いすを開いたとき、アンカーバーがまっすぐになっていることを確認してください。
上に折れ曲がっている場合は、手で押し下げてアンカーバーをまっすぐにしてください。



たたみかた

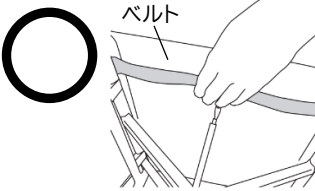
- 1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。
- 2 両側のフットサポートを上げます。
- 3 座シートの前後中央部分を持ち上げて、シートパイプを引き寄せます。
そのとき、アンカーバーも一緒に折りたたまれます。

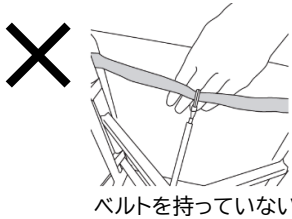




注 意

座シートの前方を持つときは、一緒にベルトを持って折りたたんでください。
ベルトを持たずに持ち上げると、アンカーバーが折りたたむことができない場合があります。





- 4 左右のアームサポートを外側から内側に押して、座シートを折りたたみます。
※ 車いすをたたむときは各部品が可動しますので、手をはさまないように注意してください。

本書で使用しているイラストは、ご購入いただいた製品と異なる場合があります。
製品向上のため、本書に記載している仕様の全部、または一部を予告なく変更することがあります。

製造元

Wheel Chair
Miki
株式会社 ミキ

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目 38 番 10 号

2504-H01-MVM

使いかた

フット・レッグサポートの開閉・取り外し

フット・レッグサポートをワンタッチで開閉させたり、取り外すことができます。車いすへの乗り降りの際は、フット・レッグサポートが脚にぶつかることなくスムーズに移乗することができます。



警告

- ・フット・レッグサポートの開閉・取り外し・取り付けは、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行ってください。
- ・フット・レッグサポートを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて、事故やけがにつながる恐れがあります。
- ・乗り降りの際は、フット・レッグサポートに身体や衣服が引っ掛からないように注意してください。転倒など事故やけがにつながる恐れがあります。
- ・フット・レッグサポートの開閉時、フット・レッグサポートに身体や衣服が引っ掛からないように注意してください。転倒など事故やけがにつながる恐れがあります。
- ・フット・レッグサポートを開いた状態で、車いすの操作をしないでください。
- ・フット・レッグサポートを戻した後は、フット・レッグサポートが確実に固定されていることを確認してください。



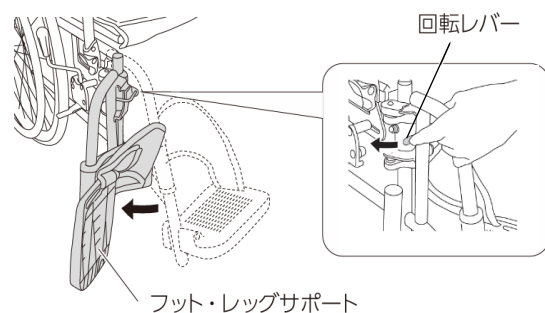
注意

フット・レッグサポートの開閉・取り外し・取り付けは、使用者の脚をフットサポートから降ろした状態で行ってください。

開きかた

回転レバーを矢印の方向に動かして、そのままフット・レッグサポートを外側に回転させて開きます。

※ フット・レッグサポートを開いた状態で、フット・レッグサポートに力を加えないでください。部品が変形して故障の原因となります。



閉じかた

フット・レッグサポートを内側に回転させて閉じます。

※ フット・レッグサポートを閉じるときに、指をはさまないように注意してください。

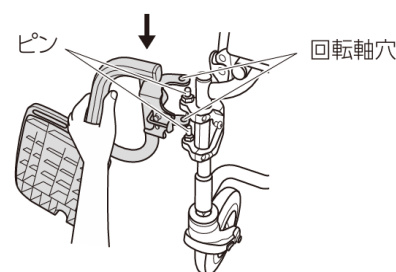
※ フット・レッグサポートを閉じた後は、フット・レッグサポートが確実に固定されていることを確認してください。

取り外しかた

フット・レッグサポートを外側に開いた状態で、垂直に引き上げます。

取り付けかた

- 1 本体フレームのピン側に、フット・レッグサポート側の回転軸穴を合わせて、垂直に上からはめ込みます。



- 2 フット・レッグサポートを内側に回転させて閉じます。

※ フット・レッグサポートを閉じるときに、指をはさまないように注意してください。

※ フット・レッグサポートを閉じた後は、フット・レッグサポートが確実に固定されていることを確認してください。

各部の調節のしかた

ヘッドサポートの取り付け・取り外し

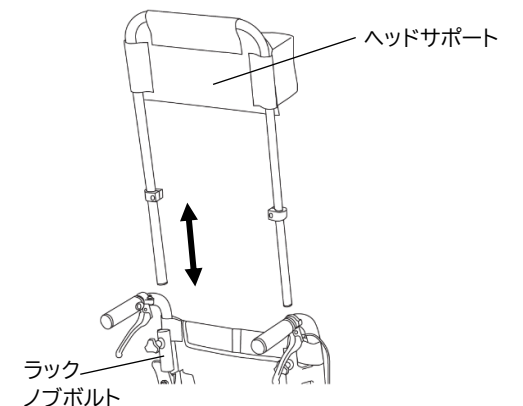


注意

ヘッドサポートの取り付け・取り外しは、使用者が乗車していない状態で行ってください。

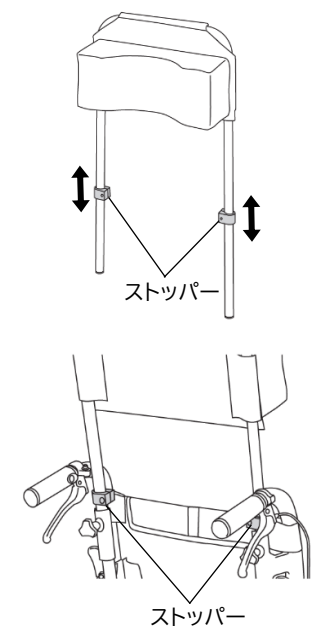
取り付けかた

- 1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。
- 2 車いすを開いた状態にします。
- 3 左右のラックに、ヘッドサポートフレームを差し込みます。
※ ノブボルトが当たって入らない場合は、ノブボルトをゆるめてください。
- 4 左右のノブボルトを締め付けてヘッドサポートを固定します。
※ ヘッドサポートにがたつきがなく、確実に固定されていることを確認してください。



ヘッドサポートの高さ調節

- 1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。
- 2 ヘッドサポートの取り付けられているストッパー(2ヶ所)のキャップボルトを、六角レンチ(4mm)でゆるめて、ストッパーが動かせるようにしておきます。
- 3 左右のノブボルトをゆるめて、ヘッドサポートを上下に動かして高さを調節します。
- 4 希望の高さが決まったら、左右のノブボルトを締め付けてヘッドサポートを固定します。
※ ヘッドサポートにがたつきがなく、確実に固定されていることを確認してください。
- 5 左右のストッパーをラックの上に合わせて、キャップボルトを六角レンチ(4mm)で固定します。
※ 以降、取り付け時の高さが保持されます。



取り外しかた

取り付けと逆の要領でノブボルトをゆるめて、ヘッドサポートを上を持ち上げてラックから取り外します。